

令和4年度 学校教育アンケート集計結果

児童・保護者の皆様の声を、これからの学校づくりに生かしていきます。

◇アンケートの方法について

1. 保護者の方には、お子様一人一人の様子を見取り、お答えいただきました。
2. 児童への設問は保護者用をわかりやすく文章化し、担任が補足説明を行いました。
3. 保護者の方への設問は、1～16まであります。児童は、設問1～14までとなっています。
(※この報告の設問は、保護者用を表記しています。)
4. 設問は、学校経営方針・4つの重点から構成されています。
 - I. 豊かな心でふれ合う学校 (設問 1～5)
 - II. 学びを楽しむ学校 (設問 6～11)
 - III. 健康で安心な学校 (設問12～14)
 - IV. 共に歩みつながり合う学校 (設問 15～16)
5. 評価規準は、以下の4つで行いました。
[A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]

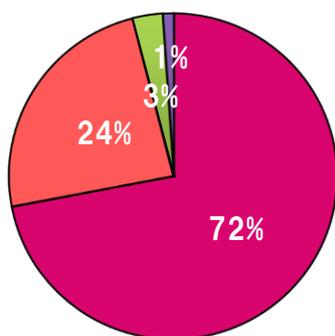
◇アンケートの集計(グラフ)について

○児童・保護者のグラフは、学年のアンケート回収数をもとに集計しグラフ化したものです。分かりやすくするため、小数点以下は四捨五入しています。0%の表記でも、回答が0であったことと同義ではありません。ご注意ください。

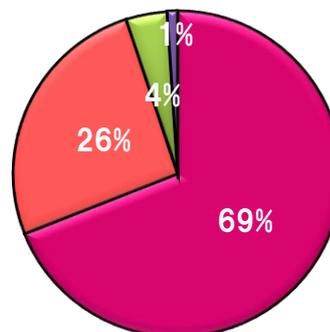
I. 豊かな心でふれ合う学校

設問1. 「学校に楽しく行っている。」

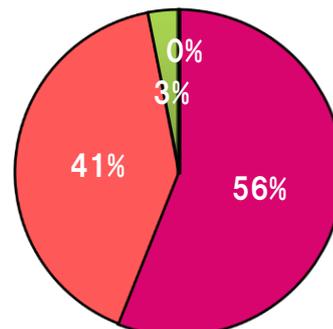
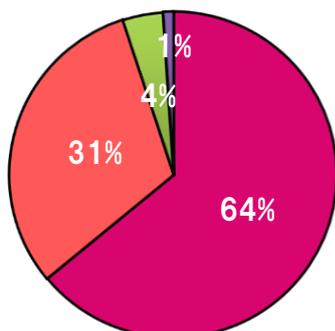
◇児童◇



◆保護者◆

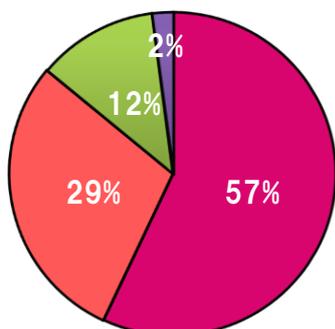


設問2. 「人に優しく接し、親切にしようとする心が育ってきている。」

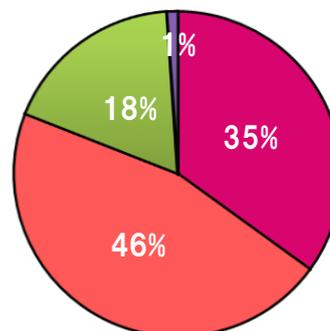


設問3. 「進んであいさつができています。」

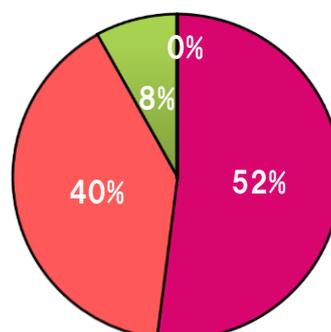
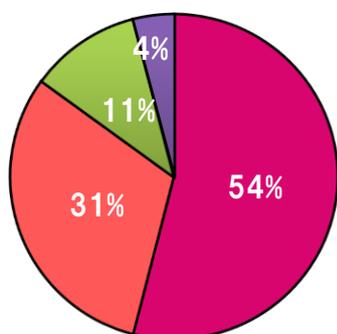
◇児童◇



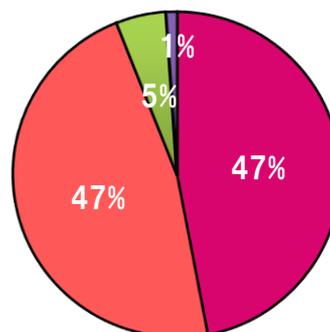
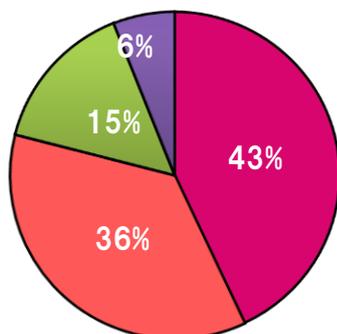
◆保護者◆



設問4. 「縦割り活動や行事などを通して、他学年との交流ができています。」



設問5. 「学校は、子どもや保護者が抱える様々な悩みや問題に積極的に取り組んでいる。」



◇『I 豊かな心でふれ合う学校』(問.1～5)に関わる主なご意見と改善の方向性

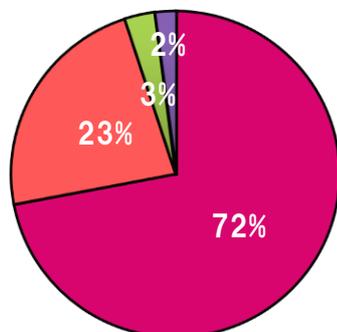
- コロナ禍で行事や体験活動が効率化され、保護者の負担軽減にもなりよかった。
- 行事や体験活動が再開されるようになり、学習効果の高さを実感できた。
- 縦割り活動によって、異学年交流が進み、校外でも異学年と一緒に遊ぶ姿が見られた。
- 正門での挨拶運動により、挨拶の大切さを実感できたようだ。
- 心のアンテナを張って指導してくれており、ありがたく感じる。

- ・教科学習と関連付けた体験活動や各種行事の効率化、縦割り活動による異学年交流、地域と連携したあいさつ運動など、効果が高かった取組を継続していきます。
- ・学校内での挨拶は習慣化しつつありますが、家庭や地域での挨拶は定着途中です。挨拶の意義等を伝えていきます。
- ・相談を待つのではなく、子どもたち一人一人の悩みや困り感を見つけて寄り添えるよう、定期的なアンケートや面談の機会を設定していきます。

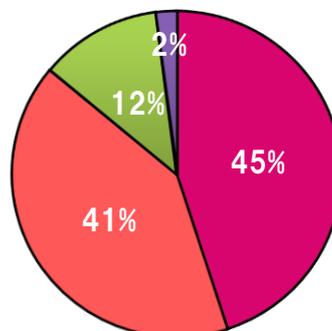
Ⅱ. 学びを楽しむ学校

設問6. 「学習に意欲的に取り組んでいる。」

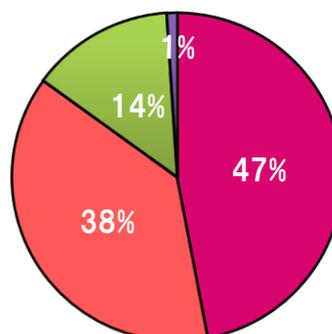
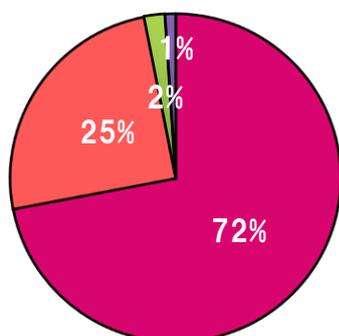
◇児童◇



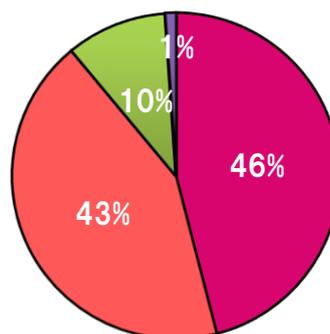
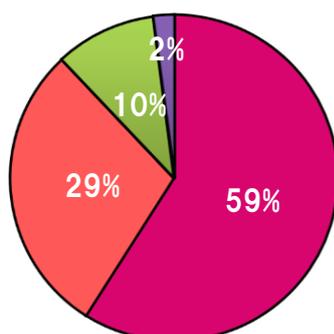
◆保護者◆



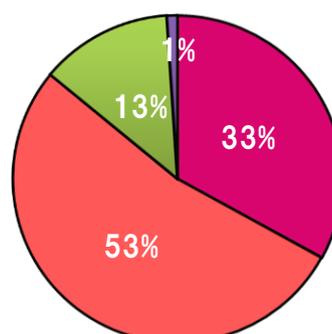
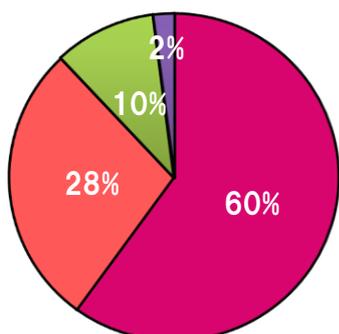
設問7. 「読む力・書く力がついてきている。」



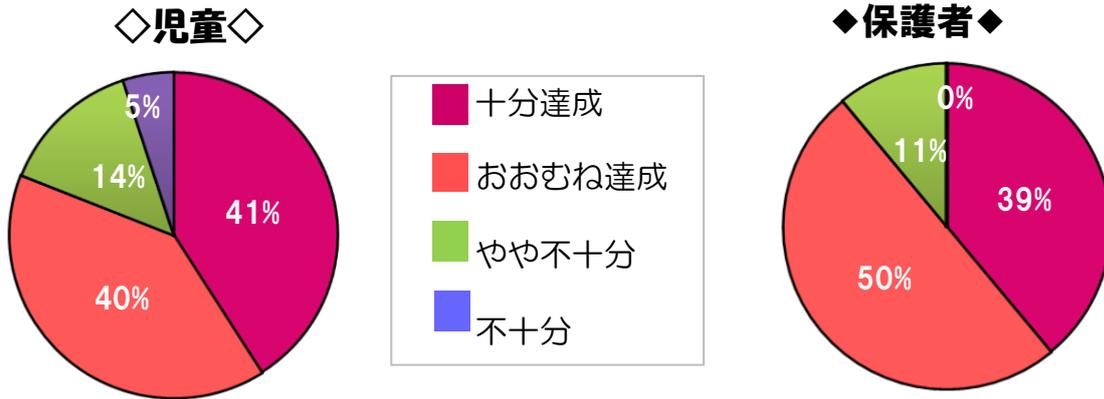
設問8. 「計算する力がついてきている。」



設問9. 「自分で考えて問題を解決する力がついてきている。」



設問10. 「自分の良さや努力する喜びを感じている。」



設問11. 「クラスや交流級の友だちと楽しく過ごすことができている。」



◇『Ⅱ 学びを楽しむ学校』(問.6～11)に関わる主なご意見と改善の方向性

- 個に応じた支援(入り込み・取り出し授業など)が充実しており、学習意欲の向上につながっている。
- 算数の少人数指導により、苦手意識が少し減ったようだ。
- 家庭学習(宿題)を丁寧に添削してもらったことにより、学習内容の定着につながった。
- 総合的な学習の時間での探求的な活動により、子どもの思考力の伸びを実感することができた。
- GIGA端末でのオンライン授業により、長期欠席への不安が軽減した。
- △注意する声かけより、良い行動を褒める声かけを意識的に増やしてほしい。

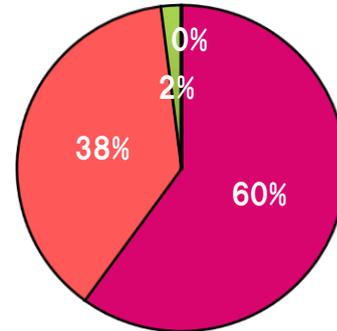
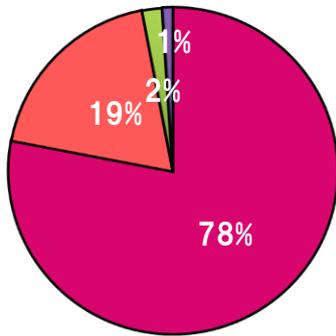
・設問6・7・8はおおむねよい傾向と捉えています。基礎的な学力が向上してきたからこそ、設問9・10の「主体的に学ぶ姿」や「自己有用感を高める」ための授業づくりに取り組んでいきます。

・GIGA端末の活用によって、「他者の学び」と「自分の学び」をつなげたり、自分の考えを発展させたり、学びを日常生活と関連付けたりすることが増えてきました。家庭・地域での学びと学校での学びをつなげるため、平時の持ち帰りや家庭学習での活用を進めていきます。

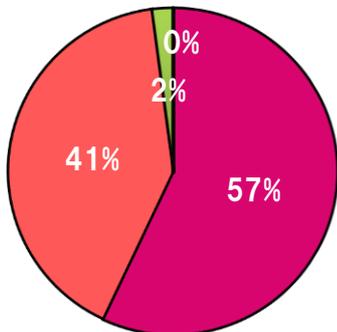
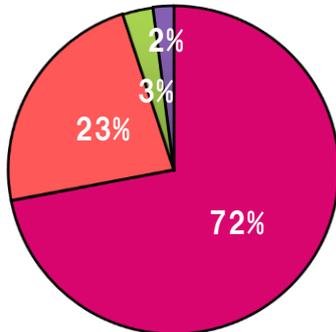


Ⅲ. 健康で安心な学校

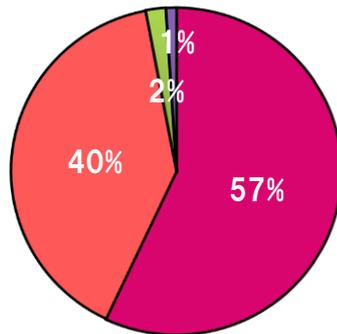
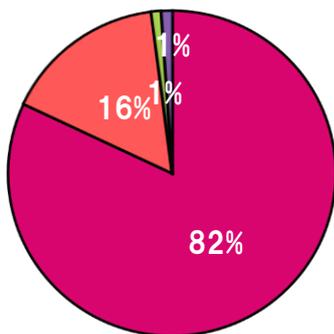
設問12. 「子どもの安全を配慮した取り組みがされている。」



設問13. 「新しい生活様式の実践、給食指導や食育、キラキラタイムなどを通して、子どもの健康に配慮した取り組みがされている。」



設問14. 「当番活動や係活動、話し合いなどの学級活動を通して、協力、協働の気持ちや実践力が育ってきている。」



◇『Ⅲ. 健康で安全な学校』(問.12~14)に関わる主なご意見と改善の方向性

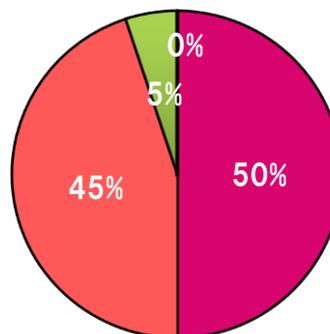
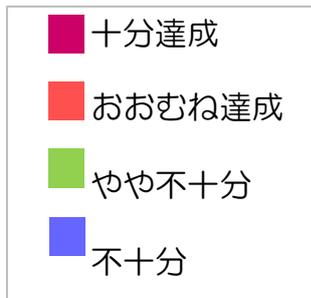
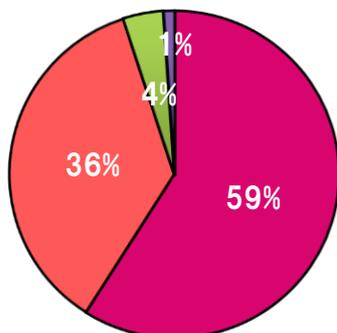
- 給食の黙食指導の見直しがあり、よかった。
- コロナ禍でも工夫して各種行事等が行われており、よい。
- 係や当番の内容に子どもたちの意見が取り入れられており、責任感をもって取り組んでいる。
- ・今後も川崎市のガイドラインに沿った柔軟な感染症対策を進めます。



IV. 共に歩み、つながり合う学校

設問15. 「懇談会、個人面談、お便り、配信メール、学校ホームページなどを通して、新しい情報の発信に努めている。」

設問16. 保護者と共に教育活動に取り組んでいる。
【保護者】



◇『IV. 共に歩みつながり合う学校』(問.15・16)に関わる主なご意見と改善の方向性

○公開授業が多く、子どもの様子が分かってよい。

○学校ホームページの写真で学校の様子が分かるので嬉しい。

○運動会・学校評価アンケートがオンラインで回答できるようになり、便利。

△学校だよりや学年だよりなどは、データでの配信もあるとよい。

・今後も、適切な情報の発信を継続していきます。

・文書のデジタル化については、PTAが先駆けて実施して下さる予定です。学校文書においても、前向きに検討していきます。



1月

理科支援員の井上清三先生とたくさんの実験を行いました。金属や水の温まり方や、水の変化の実験ではガスコンロの使い方を指導していただきました。

グループの友達と協力をしながら、安全に取り組みながら成長を感じました。



小田原・箱根校外学習

1月13日に小田原・箱根に校外学習に行ってきました。とてもよい天気で、小田原城天守閣からは海や小田原の街が一望できました。

生命の星・地球博物館では、恐竜の化石や動物のはく製、神奈川の自然などの展示をじっくりと見学し、地球と生命の歴史を学んできました。

また、箱根密木園工務隊では、様々な種類の木を組み合わせてコースターづくりを行いました。職人さんの話をよく聴き、集中して丁寧に作業に取り組んでいました。



